



第13回常任理事会

日時 令和元年9月10日(火) 18:00～19:14
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、外園監事
 (事務局：安達局長ほか10名)

協議事項

第1号 北海道CDR (Child Death Review子供の死亡登録検証制度) 連絡会委員の推薦に関する件 (目黒常任理事)

三戸常任理事を推薦することと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座9件を承認。

報告事項

1. 横倉義武日本医師会会長と地域医療を考えるオホーツクフォーラム [8月7日(水)・紋別市] について (青木常任理事)

今年3月に日医総研が作成した「日本の医療のグランドデザイン2030」の実現に向けて、人口過疎地の地域医療連携モデルとして想定しているオホーツク圏の本フォーラム実行委員会の主催により、紋別市、網走市、北見市等の共催、日医、当会が後援し開催されオホーツク地域の首長、基幹病院、医師会の代表者等44名が出席した。日医・横倉会長からは「日本の医療のグランドデザイン2030とこれからの地域医療」をテーマに医師会の役割や人口減少社会に向けた医療のあり方、グランドデザインの内容、オホーツク医療圏への支援内容などを中心に講演が行われた。その後の意見交換会では、医療機能の役割分担の難しさや医師の高齢化、ITの活用などについて意見があった。

2. (厚生労働省主催) 第2回都道府県医療政策研究会・第2回地域医療構想アドバイザー会議 [8月30日(金)] について (荒木常任理事)

厚生労働省より今後の地域医療構想の進め方なら

びに令和2年度予算概算要求の概要について報告があった。また、診療実績データ等の分析による具体的対応方針の検証について説明があった。

3. 第1回北海道糖尿病対策推進会議 [9月2日(月)] について (三戸常任理事)

構成団体10団体から昨年度事業報告ならびに今年度事業計画の説明があった。北海道から糖尿病性腎症重症化予防事業に係る市長村取組状況調査について「取り組んでいる・今後取組予定」が171市町村に対し、「取り組む予定なし」が8市町村あり、取り組めない理由として、かかりつけ医や関係機関・医療機関との連携が取れないことやマンパワー不足が原因であると報告があった後、意見交換が行われた。

4. CBRNEテロ災害研修会 [9月3日(火)] について (青木常任理事)

今月開催のラグビーワールドカップ2019、来年開催する東京オリンピック・パラリンピックでは、札幌市が開催地の一つとなっている。当会では、マシガザリングを狙ったテロなどの不測の事態に備え、その危険性と必要な対応を認識しCBRNEの基礎知識やターニケットを用いた止血法等を学ぶことを目的として、本研修会を開催した。札幌医科大学医学部救急医学講座・上村講師から「生物化学剤等に曝露した可能性のあるウォークイン患者の一般医療機関での対応」について講演いただいた。札幌市消防局警防部・伊藤救急課長から「札幌市消防局における特殊災害等への対応」について解説があった後、札幌市消防局警防部救急課による訓練用ターニケットを使用した止血法ならびに、当会・目黒常任理事による「汚染された場合の脱衣、乾式除染」についてそれぞれ実技指導を行った。参加者は医師、看護師等61名であった。

5. 第28回全国医師会共同利用施設総会 [9月7日(土)～8日(日)・三重県志摩市] について (伊藤常任理事)

「医師会共同利用施設の意義とこれからの方向性」をメインテーマに開催された。1日目は日医・横倉会長の特別講演「日本医師会の医療政策」と全国医師会共同利用施設施設長検査健診管理者連絡協議会・山本会長より、昨・今年度の報告が行われた後、3つの分科会(①医師会病院関係、②検査・健診センター関係、③介護保険関連施設関係)に分かれ、シンポジウムが行われた。2日目は各分科会報告の後、施設見学が行われた。参加者は347名であった。次期(第29回)開催は、令和3年9月11日(土)～12日(日)、当会が担当となり札幌市で開催予定。

6. 外部各委員会報告

(1) 石狩教育局「子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会」[8月28日(水)] について (三戸常任理事)

生徒の自殺または自殺が疑われる死亡事案に

について説明があり、委員の小職、大学教授、社会福祉士、弁護士からの意見聴取が行われた。

(2) 第1回北海道DMAT等検討ワーキンググループ [8月30日(金)] について (目黒常任理事)

座長に札幌医科大学医学部救急医学講座・上村講師を選任した後、今年度の協議予定事項について説明があった。その後「大規模災害時におけるドクターヘリの運用体制の構築」「北海道災害医療コーディネーター設置要領の改正」「本道における災害医療体制の構築」について協議した。

(3) 第1回地域医療介護総合確保基金(介護分) 検討協議会 [9月4日(水)] について (藤原副会長)

昨年度の基金の運用状況ならびに事業評価について報告があった。また、次年度の基金計画について、各団体からの事業提案に関する説明があった。当会としては北海道ヘルスケア・ロボット協会と共同でICTを活用して各地域特性に合った地域包括ケアシステムの構築・普及を目指す、北海道地域包括ケア推進会議の事業提案を行い、今後検討していくこととしている。その他、北海道より保健福祉部医療・福祉人材確保室の設置について提案があり、了承された。

(4) 日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議 [9月4日(水)] について (三戸常任理事)

昨年度の活動状況について報告があった。その後、災害共済給付事業に関する医療機関および学校の負担軽減策のほか、学校安全支援事業に関して、事故発生の未然防止に向けた事故情報活用促進について意見交換を行った。

(5) 第1回北海道新生児聴覚検査体制検討協議会 [9月5日(木)] について (三戸常任理事)

本協議会は、道内の全ての新生児が聴覚検査を受けられる体制の整備に向けて、各機関の役割や課題等について検討するため設置された。座長に小職が選任された後、道内の新生児聴覚検査の実施状況や市町村における公費負担実施状況等の説明があった。今後は全ての新生児が新生児聴覚検査を受けられるようにするための体制整備や要支援児を療育に繋げていく体制の整備について検討し、その結果を踏まえて新生児聴覚検査マニュアルを作成することとなった。

7. その他

(1) 世界医師会(WMA)トビリシ総会[10月23日(水)～26日(土)・ジョージア] について

(目黒常任理事)

トビリシで開催される今年度の世界医師会総会につき説明し、参加を募った。

道総医協関連事項(深澤副会長)

1. 第4回地域医療専門委員会 [9月5日(木)] について (佐古副会長)

北海道外来医療計画の骨子(案)ならびに北海道医師確保計画の骨子(案)、地域医療構想に関するこれまでの取組状況について報告があり、地域医療介護総合確保基金(医療分)の昨年度北海道計画の事後評価等について協議を行った。

第14回常任理事会

日時 令和元年9月24日(火) 18:30～19:33
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・青木・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事

(事務局:安達局長ほか11名)

協議事項

第1号 第56回献血運動推進全国大会実行委員会委員および幹事会幹事の就任に関する件

(目黒常任理事)

実行委員会委員に長瀬会長を、幹事会幹事に安達事務局長を推薦することと決定。

第2号 令和元年度北海道医師会表彰に関する件

(目黒常任理事)

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員170名、本会役員・代議員を通算15年以上の会員1名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員341名、国公立等医療施設従業員80名、医師会職員7名ならびに規程第4条による特別表彰者3名の合計602名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者とする事と決定。

第3号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(目黒常任理事)

9月18日の審査委員会で指定可とされた、再審2名の申請者を指定医師とする事と決定。また、施設変更2件の申請を承認。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座11件を承認することと決定。

第5号 北海道医師会職員就業規則の一部改正に関する件 (目黒常任理事)

当就業規則第22条に定める職員の有給休暇取得について、本年4月に施行された働き方改革関連法のうち、労働基準法の改正で「年10日以上有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることができる」が義務付けられた

ことに伴い、規則の一部を改正し本年4月1日より適用することと決定。

第6号 第5回理事会（移動）[10月13日（日）・北見市]の議案に関する件（目黒常任理事）

10月13日（日）午後4時から北見市において開催する、第5回理事会の提出議題を決定。

第7号 その他

(1) 10月行事予定表に関する件（事務局）

報告事項

1. 表彰選考委員会 [9月9日（月）] について

（目黒常任理事）

表彰規程に基づく会員170名、本会の役員・代議員1名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員341名、国公立等医療機関従業員80名、医師会職員7名ならびに特別表彰3名の合計602名を被表彰者と決定した。

2. 北海道がんサミット2019 [9月14日（土）] について（伊藤常任理事）

当会が構成団体として参画している北海道がん対策「六位一体」協議会の主催のもと、「平成時代から令和時代へ～今、何ができるか～」をテーマに4回目の本サミットを開催した。第1部では「地域に根ざしたがん対策のあり方」として函館がん患者家族会「元気会」・斉藤代表、室蘭市保健福祉部健康推進課・田中係長より、各地域におけるがん対策の取り組みについて報告があり、続いて北海道対がん協会札幌がん検診センター・河原崎所長より「現代のがん検診の正しい知識とあり方」の講演が行われた。第2部では3つのテーマ「受動喫煙について考えよう」「がん教育について考えよう」「医療連携・在宅医療について考えよう」を設け、テーマ毎にパネルディスカッションを行い、小職もパネリストとして参加した。参加者は約140名であった。

3. 第2回都道府県医師会長協議会 [9月17日（火）] について（深澤副会長）

事前に提出された、HPVワクチン接種、地域医療構想調整会議の開催状況、医師の働き方改革（医師の時間外労働規制）による救急医療への影響、救命救急医・小児科医・産婦人科医の養成について、患者（およびその関係者）による不適切録画・録音等への対応、医療機関におけるキャッシュレス決済など16題の質問に対して日医担当役員より回答があった後、質疑応答が行われた。

4. 令和元年度地域医療に関わる地域別意見交換会 [9月18日（水）・稚内市] について

（笹本常任理事）

地域医療の確保・継続に苦慮している各地の状況を把握するため、長瀬会長他5名の当会役員と宗谷医師会の役員ならびに会員により、喫緊の課題を含め地域のさまざまな問題について意見交換を行った。稚内市ならびに北海道関係者も傍聴し、出席者は23名であった。

5. 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会 [9月19日（木）] について（藤井常任理事）

日医標準レセプトソフトのオンプレミス版（院内設置型）について、オープンソースの考え方を崩さずに周辺部分のサービスを有償化すること、紙の医師免許証をHPKI機能付きカード型免許証に切り替えるよう厚労省と協議中であること、次世代医療基盤法施行に伴い、一般財団法人日本医師会医療情報管理機構を設立し、認定匿名加工医療情報作成事業者への申請を準備中であることが報告された。また、マイナンバーカードを利用したオンライン資格確認を行う際のシステム導入イメージなども説明された。

6. 日医理事会報告（長瀬会長）

日本医師会年金脱退一時金利率の件、中医協の件、医道審議会医師分科会医師専門研修部会の件等の報告と、日本学校保健会からの令和元年度助成金申請の件、資金運用委員会設置の件、日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考の件等につき協議した。また事前の理事打合せにおいて、医師の兼業副業についての意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。